

(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「得意なこと」

プログラム名 : トピック型日本語プログラム		
授業名	得意なこと	
対象児童・生徒	() 小低 () 小中 (◎) 小高 (○) 中学生 ◎ : 主な対象 ○ 対象	
時間	(25) 分 × (1) 回	
形態	(○) 少人数グループ (○) 個別	
日本語の力 (ことばの 力のものさ しで)	・よく耳にする単語やその一部を口にする(聞く・話す)。 ・支援者と一緒に/支援者に続いて、1文字ずつの拾い読みができる(読み)。	
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1 [聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC	
目標 (Can-do)	・趣味やスポーツの名称を知り、自分の得意なことを話すことができる。	
既習事項	はじめまして。～です。～から来ました。～歳です。～が好きです。どうぞよろしく。	
語彙・表現	語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度とする)	サッカー、クリケット、バドミントン、卓球、バスケットボール、ピアノ、ギター、歌、絵、～語、ゲーム、ダンス、料理
	表現	・ゲームが得意です。
コア日本語 (文型・文法/語彙)	・名詞文 「私は～が得意です。」 (生徒のニーズに合った語彙)	
主な活動	学習活動	学習方略
	・趣味やスポーツに関する語彙を知り、自分の得意なことを言う。 ・学んだ表現を使って自己紹介をする。	・テーマ全体(はじめまして)を見て、既習項目と結びつける ・教材を手掛かりに自分の得意なことを言語化する
実施上の留意点	・趣味やスポーツに関する語彙は数が多いので、理解の状況に応じ、生徒のニーズに合ったものを中心に扱う。	
アイデア	<児童生徒の多様性への対応で> 児童生徒が興味を持っている事柄について、地域性や文化などに配慮する必要がある ので、適宜ともに調べるなどの対応をする。(例:クリケット)	
	<他のプログラム・教科との関連> 「どうぞよろしく」「好きなもの」とともに扱い、充実した自己紹介ができるように する。	

活動案 【得意なこと】

本時の目標		趣味やスポーツの名称を知り、自分の得意なことを話すことができる。	
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	導入 1 趣味やスポーツの絵を見て、名称を知り、発話する。	T: (サッカーの絵を見せながら) サッカー S: サッカー (同様に、趣味やスポーツを表すイラストを提示し、発話する)	○趣味やスポーツを表す絵
10分	展開 2 絵を見て教師に続いて発話する。 ・学んだ語彙を使って代入練習を行う。 3 実際に自分の得意なことを話し、クラスメイトに尋ねる。	T: (他の教師の得意なことの写真や動画を見せる。例: 料理の写真) 料理 (作るジェスチャーをする) S: 料理 T: 得意です。 S: 得意です。 T: 料理が得意です。 S: 料理が得意です。 T: ○○先生は料理が得意です。 S: ○○先生は料理が得意です。 T: (サッカーの絵を提示して) サッカーが? S: 得意です。 T: サッカーが得意です。 S: サッカーが得意です。 (同様に複数の語彙で代入練習を行う) T: 私は○○が得意です。(教師が実際に得意なことを話す) (生徒を指名しながら) ○○さんは? S1: 私は○○が得意です。 T: (隣の生徒に尋ねるように促す) S1: S2さんは? (同様に一人ずつ答えさせる)	○他の教師が得意なことの写真や動画 △長い文を一度に発話しようとせず、少しずつ長くする。 △教師と子どもだけのやり取りではなく、子ども同士のやり取りを促す。
5分	まとめ 4 トピック「どうぞよろしく」「すきなもの」と合わせて自己紹介をする。	はじめまして～です。～から来ました。～歳です。～が好きです。～が得意です。どうぞよろしく。	
評価の対象と観点		活動3 学んだ表現を使って自分の得意なことが言えたか。 活動4 学んだ表現を使って自己紹介が言えたか。	